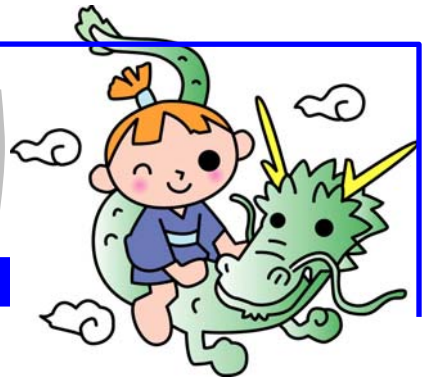


# ダムの風だより



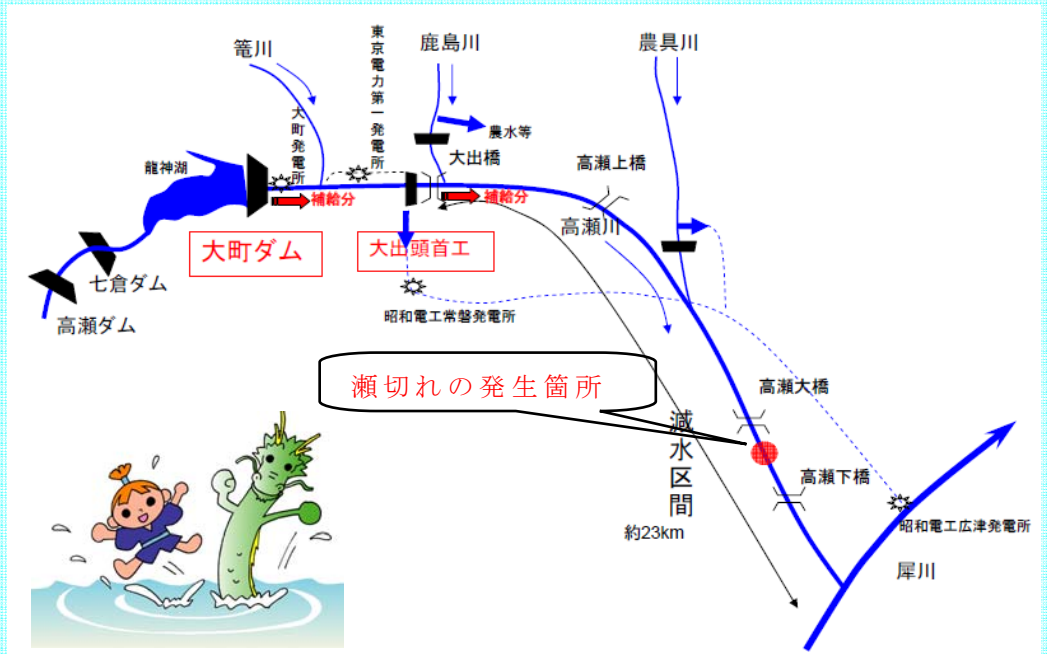
## 国土交通省大町ダム

大町ダムのキャラクター、犀龍と小太郎

“ダムの風だより”は国土交通省 大町ダム管理所が発行する広報誌です。

### 冬も活躍！ 大町ダム

高瀬川は長野県でも有数のきれいな川ですが、毎年のように「瀬切れ」という現象が起こっています。そこで大町ダムでは、高瀬川の瀬切れに代表されるような水環境の悪化を改善するための調査・検討を行うとともに、瀬切れの発生時にはダムからの放流を行うことにより水環境の改善に努めています。



#### 1. 瀬切れとは???

「瀬切れ」は川の流が途中で途切れてしまう現象です。川の流が途切れてしまうことで、魚をはじめとする水棲生物に大きな影響を与えてしまいます。

高瀬川の瀬切れは、秋から冬にかけては降水量が少なくなること、高瀬川の河床は砂れきが主体のため川の水が河床の下にもぐりやすいこと、また高瀬川の水は発電や農業用水として高度に利用されていることから川を流れる水の量が特に少なくなった時に起こりやすくなります。

#### 2. ダムからの放流により瀬切れ解消

今年も 10 月 2 日に松川村パターゴルフ場付近で瀬切れが発生したため、大町ダムから瀬切れ解消のためのダム放流を行いました。その結果、翌日 3 日には瀬切れを解消することができました。

大町ダムの水は大切な水道用水や農業用水、発電に使われているため、すべての水を瀬切れ解消のために使うことはできませんが、これからも可能な限り水環境改善のために努力していきます。

10/2 瀬切れを確認



左の写真では川の流がなくなっている！  
これが瀬切れなんだね



10/3 ダムからの放流により瀬切れ解消



## 職場体験学習を行いました

大町ダムでは、地元中学校の職場体験学習を毎年行っています。今年も第一中学校と仁科台中学校から合計 9 名の生徒さんが参加しました。

体験学習の内容は、貯水位などの測定を行うダム諸量のチェック、ダムの内部に浸透してくる漏水量の計測、ダムに異常がないかを見て回る堤体巡視、ダム湖の流木の回収など、実際に日常行っているダム管理作業を 2 日に渡り実体験しました。

漏水量の計測では全員の数値がほぼ同じになるまで何回も計測し、堤体巡視では迷路のようなダム内部を歩き回りながら計測器を確認するなど、学校生活では経験できない貴重な経験をしていきました。



ダムの漏水量測定

人によって違う数字になり繰り返し測定していました



作業船で流木回収

今年は洪水がなかったこともあり、流木が少なく残念？



ダム放流前を想定した河川巡視

釣り人などの河川利用者がいないか確認中

## 工事等請負者との意見交換会を開催しました

11 月 19 日、大町ダム管理所で発注契約している工事等の請負者と発注者（大町ダム職員）とが一同に介した意見交換を行いました。

これは、公共事業を取り巻く厳しい状況の中、ゆとりある建設現場づくりの取り組みとして、請負者と発注者とが、効果的な業務の進捗を図ることを目的に、日頃の業務に関する疑問や問題点について、改善、解決するための「現場からの声を聞く会」として設けたものです。

各請負者からは、早期発注の要望、同一現場内の請負者間の連携、近隣住民に配慮した現場管理等の意見が出され、請負者と発注者とが意識を共有する有意義な時間になりました。

洪水期が終わり大町ダムではいくつかの工事等が施工されており、また降雪や凍結といった厳冬期となりますが、「建設労働災害ゼロ」を目指していきます。



工事等請負者から現場の生の声を聞く貴重な時間になりました。

コミュニケーション  
は大切だね！



洪水から地域の人々の生命や財産を守り、ふるさとの大切な水資源を活かすことが、大町ダムの使命です。ダムに関するご意見やご要望もお待ちしております。

国土交通省 北陸地方整備局 大町ダム管理所

〒398-0001 長野県 大町 平 2112-71 TEL.0261-22-4511(代) FAX.0261-22-4512

<http://www.hrr.mlit.go.jp/omachi/>